

KENWOOD

CDレシーバー

E212/S

MP3/WMA対応CDレシーバー

E313S

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	10

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Basic Operation	12
共通操作	12
ラジオを聴く	14
ミュージックディスクを聴く	15

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Radio Listening	16
オートメモリー	16
マニュアルメモリー	16
チューニングモード	17
モノラルモード	17

Music Disc Listening	18
フォルダサーチ	18
ランダムプレイ	18
スキャンプレイ	18
タイトル/テキストスクロール	18
リピートプレイ	19
フォルダセレクト	19

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Equalizer Control	20
イコライザーカーブの呼び出し	20
スピーカー設定	20

Audio Control	21
オーディオセットアップ	21

Display Control	22
ディスプレイ選択	22
ディマーコントロール	23
パネルの取り外し	23
パネルの取り付け	23

Menu	24
メニュー設定	24
時刻合わせ	25

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? Music Disc	26
オーディオファイル	26
Help? Troubleshooting	28
共通	28
ミュージックディスク	28
オーディオファイル	29
Help? Term	30
共通	30
オーディオコントロール	30
Menu	31
Help? Error	32

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い

Basic Operation

Radio Listening

Music Disc Listening

Equalizer Control
Audio Control

Display Control

Menu

Help?

取り付け時のご注意
接続
取り付け

取り付け時のご注意	34
接続	36
取り付け	38

保証とアフターサービス	39
仕様一覧	40

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

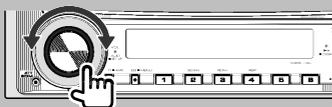
取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



また、ボリュームを回す操作は下の図で表します。



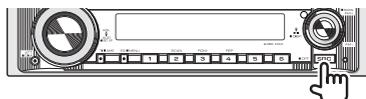
- ▼：次の段に続きます。
- ：ここで終わります。

メニュー設定

E313S

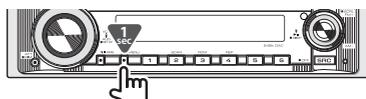
各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます



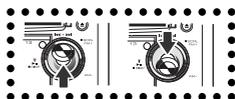
KENWOOD

2 メニューモードにします

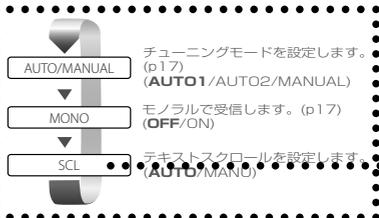


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を表示します



Tunerの場合



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

使用できるモデル

機能によっては、使用できるモデルに制限がある場合があります。使用できるモデルを下のマークで表します。

 : E313S

短く押す

 で示したボタンをチョンと押す。

1秒以上押す

 で示したボタンを1秒（または2秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。左記では1秒間押すことを示しています。また、メモリーに書き込むときなどは2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にしてください。

ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

ディスプレイ表示

その他のマーク



ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、謝った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、謝った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

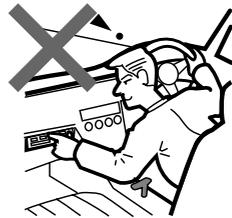
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やカセットの挿入・取り出しなど）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**禁止**

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

修製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

注意

**禁止**

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

**禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

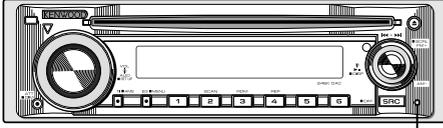
本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

**実施**

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p28)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

●
リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能オンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

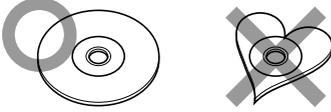
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

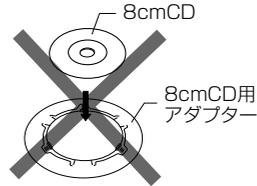
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-RやCD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



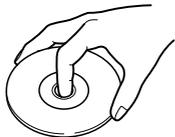
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



メディアの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることがありま
す。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。
取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージな
ども書かれています。それらの注意事項も読んでから
使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープな
どを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノ
リがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いに
ならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると
CDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



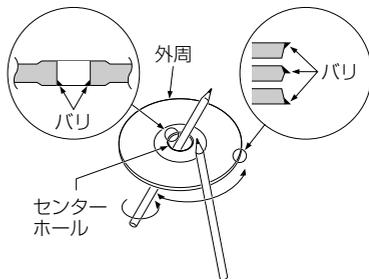
CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-RやCD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間
放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、
ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入
れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しない
でください。

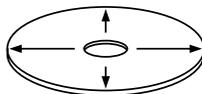
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周
部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかつ
たり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、
ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



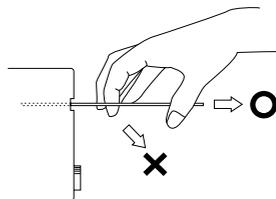
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔ら
かい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふ
き取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナー
やベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでくださ
い。



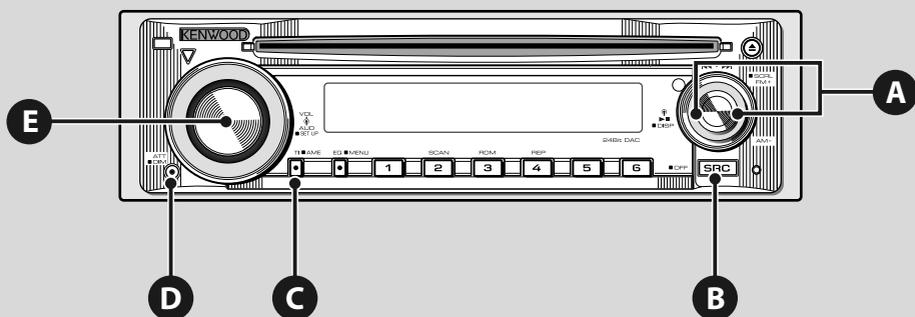
CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してく
ださい。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付
ける原因となります。



Basic Operation

共通操作



B

電源をオン/オフします

押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

D

音量を素早く下げます

押すと、音量が小さくなります（アッテネーター）。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

E

音量を調整します



- アッテネーターの動作中には **ATT** インジケーターが点滅します。

G

交通情報を聴きます

押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ（**A**）を左右に動かすと、交通情報の周波数（522kHz/1620kHz/1629kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中に **E** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。



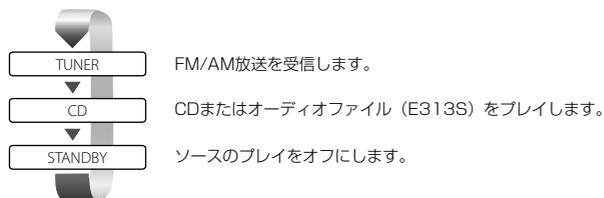
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

B

ソースを切り替えます

押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



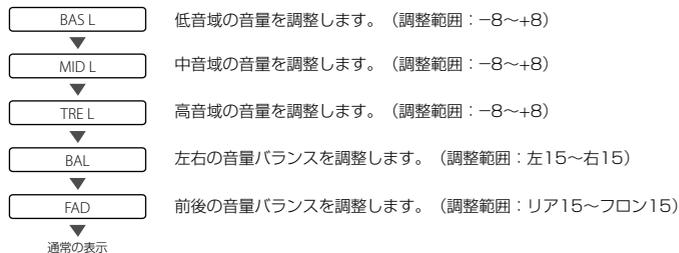
- CDが挿入されていない場合は、CDソースは飛ばされます。
- E313SでプレイできるオーディオファイルはMP3ファイルおよびWMAファイルです。これらのファイルを記録したメディアの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Music Disc」(p26)をご覧ください。
E212/Sでは、オーディオファイルはプレイできません。
- CDまたはオーディオファイルのディスク (E313S) を挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。

E

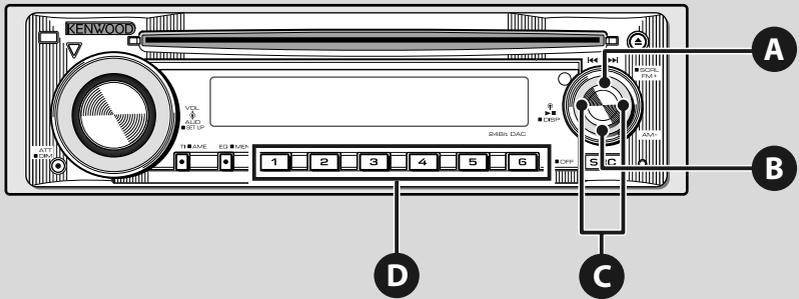
音質などを調整します

ノブを押して調整項目を選び、次にノブを左右に回して調整します。

調整項目は次の順に切り替わります。



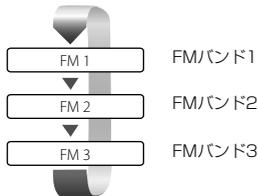
ラジオを聴く



A B

バンドを切り替えます

コントロールノブを上動かすと (A)、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブを下動かすと (B)、受信バンドがAMに切り替わります。



- ステレオ受信中は **ST** インジケーターが点灯します。

C

自動選局します

コントロールノブを左右に動かすと (C)、受信状態の良い放送局を自動的に選局します。



- コントロールノブ (C) を左右に動かしたときの選局の方法は、チューニングモードによって異なります。詳しくは「チューニングモード」(p17) をご覧ください。

D

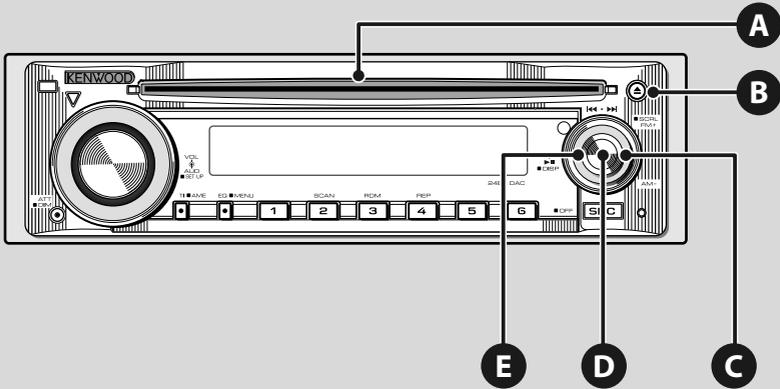
プリセット局を選局します

ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。



- Dでのプリセットチューニングは、あらかじめ各ボタンに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p16) または「マニュアルメモリー」(p16) をご覧ください。

ミュージックディスクを聴く



A B

CDをプレイします

CD挿入口(A)にCDを挿入すると、差し込んだCDがプレイされます。

CDを取り出します

イジェクトボタン(C)を押す。



- CDは水平に差し込んでください。
- CDが入っているときには **IN** インジケーターが点灯します。
- E313Sでは、オーディオファイル（MP3およびWMA形式のファイル）がプレイできます。
これらのファイルを記録したメディアの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Music Disc」(p26)をご覧ください。

D

プレイ/ポーズします

一度押すと、CDのプレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

C E

早送り/早戻しします

押し続けると、押し続けている間、曲が早送り (C)
または早戻し (E) されます。



- オーディオファイルをプレイしているときは、早送り/早戻し中に音は出ません。

C E

プレイする曲を選びます

Cを押すと、次の曲がプレイされます。
Eを押すと、プレイ中の曲の先頭に戻るか、前の曲がプレイされます。

Radio Listening

FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。



- 基本的なFM/AM放送の聴きかたは「ラジオを聴く」(p14)をご覧ください。

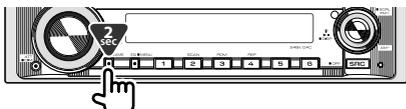
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーを開始します



A-MEMORY

“A-MEMORY” と表示されるまで押し続けます。



- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

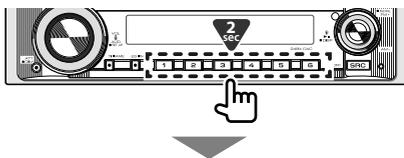
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



FM1-82.5 3^{ch}

チャンネルナンバーが1回点滅表示するまで押し続けます。

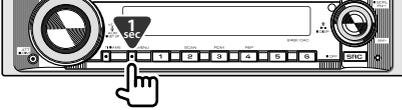


- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。
チューニングモードには、次の3種類があります。

1 メニューモードにします



“MENU” と表示されるまで押し続けます。

2 チューニングモードの項目を選択します

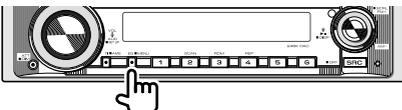


3 チューニングモードを選びます



- “AUTO1” (オート1)
受信できる放送局を受信します。
- “AUTO2” (オート2)
メモリーされている放送局を受信します。
- “MANUAL” (マニュアル)
受信する周波数を所定のステップごとアップ/ダウンします。

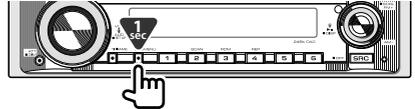
4 メニューモードを終了します



モノラルモード

電波の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが少なく聴きやすくなる場合があります。

1 メニューモードにします



“MENU” と表示されるまで押し続けます。

2 モノラルモードの項目を選択します



3 モノラルモードをオン/オフします



4 メニューモードを終了します



Music Disc Listening

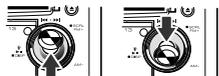
ミュージックディスク（CD、オーディオファイルを記録したディスク）を本機でいろいろな機能を使ってプレイできます。

- 基本的なCDの聴きかたは「ミュージックディスクを聴く」（p15）をご覧ください。
- オーディオファイルは、E313Sでのみプレイできます。

フォルダサーチ

E313S

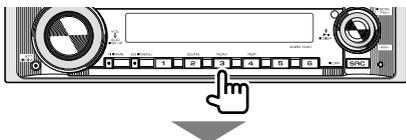
プレイするフォルダを選択します。



- フォルダサーチは、オーディオファイルのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチの詳細については「Help? Music Disc」（p26）をご覧ください。

ランダムプレイ

プレイ中のCD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



- DISC RDM CDプレイ中
- FOLD RDM オーディオファイルプレイ中

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされません。

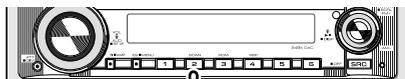


-  を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- フォルダランダムプレイは、E313Sでミュージックメディアのプレイ中に使用できます。

スキャンプレイ

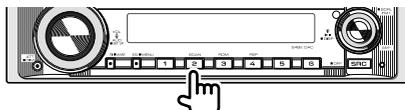
ディスクやフォルダの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



- TRAC SCN CDプレイ中
- FILE SCN オーディオファイルプレイ中

2 聴きたい曲のところで...



スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

タイトル/テキストスクロール

E313S

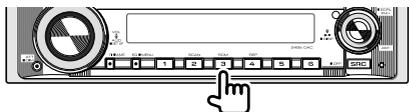
タイトル/テキストをスクロールさせます。



- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
 - ディスクタイトル/トラックタイトル
 - 曲名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクやフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CD時



オーディオファイル時



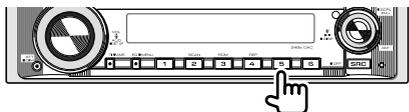
フォルダセレクト

E313S

(オーディオファイルのみ)

聴きたいオーディオファイルが入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



KENWOOD

フォルダ名が表示されます。

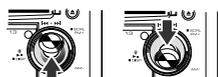
2 フォルダを選びます

同一階層内でフォルダを選ぶときは



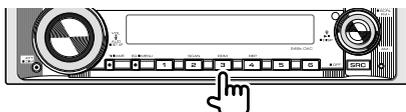
押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときには



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層に戻るときは

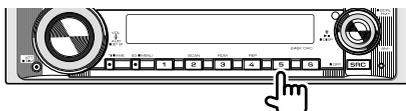


3 聴きたい曲が入っているフォルダで...



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のオーディオファイルがプレイされます。

フォルダセレクトを中止するときには...



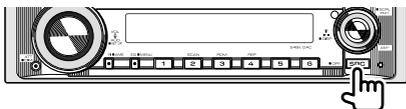
- フォルダサーチの詳細については「Help? Music Disc」(p26)をご覧ください。

Equalizer Control

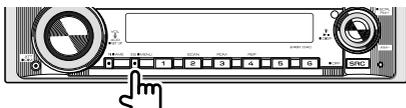
プレイする曲に合わせて、イコライザーカーブを呼び出します。また、イコライザーカーブをスピーカーに合わせて微調整します。

イコライザーカーブの呼び出し

1 設定したいソースにします



2 イコライザーカーブを呼び出します



押すたびに、次の順に切り替わります。

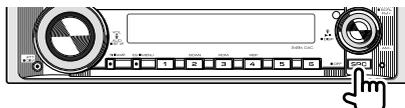


- イコライザーカーブは、ソースごとに設定できます。
- イコライザーカーブの設定値は、「スピーカー設定」(p20)の設定により変わります。先に「スピーカー設定」の設定を行ってください。
- 「USER」は「音質などを調整します」(p13)で設定した値です。
- 選択しているイコライザーカーブのイメージ図が、ディスプレイの右側に表示されます。
- イコライザーカーブの設定を変えると「音質などを調整します」で調整した値(“BAS L”、“MID L”および“TRE L”)は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。

スピーカー設定

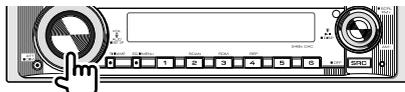
イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。

1 STANDBYモードにします

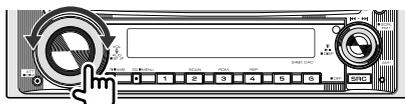


“STANDBY”表示を選択します。

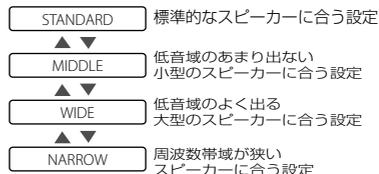
2 スピーカーマッチングモードにします



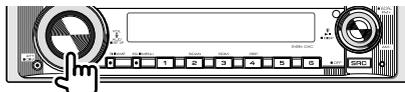
3 スピーカーを選択します



回すたびに、次の順に切り替わります。



4 スピーカーマッチングモードを終了します



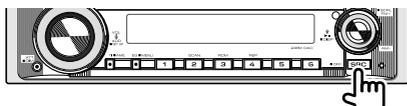
Audio Control

音響効果などを設定します。

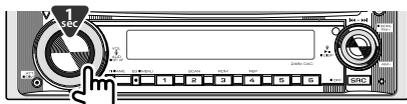
オーディオセットアップ

音量オフセットやラウドネスを設定します。

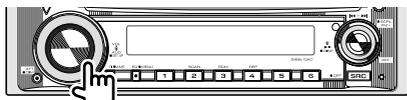
1 設定したいソースにします



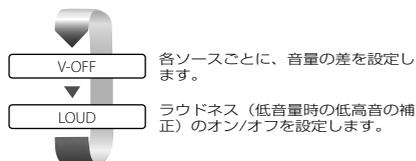
2 オーディオセットアップを開始します



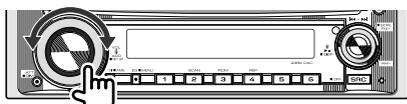
3 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。



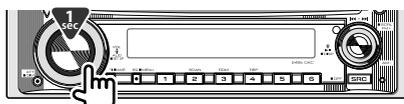
4 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
V-OFF	-8 ~ 0
LOUD	OFF、ON

5 オーディオセットアップを終了します



元のソースの表示になるまで押し続けます。



- “V-OFF”でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。

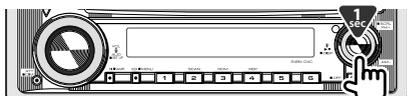
Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイ選択

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイ選択を開始します



▶ DISP SEL

“DISP SEL” と表示されるまで押し続けます。

2 表示を選択します



押すたびに、次の順に切り替わります。

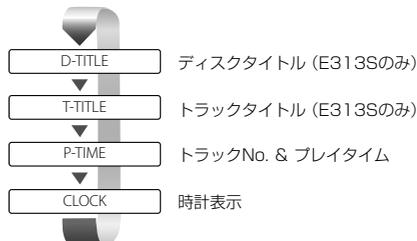
STANDBY時



FM/AM受信、交通情報受信時



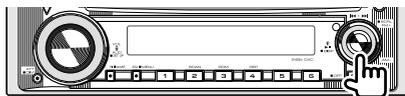
CDプレイ時



オーディオファイルプレイ時 (E313Sのみ)



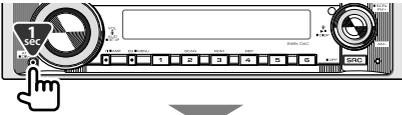
3 ディスプレイ選択を終了します



- ディスクタイトル、トラックタイトル、曲名、アルバム名が登録されていないとプレイタイムが表示されます。
- WMAファイルのプレイ中に“ALBUM”表示を選択すると、プレイタイムが表示されます。
- 本機で表示できる文字はA-Z 0-9 @ “ ` % & * + = , . / \ < > [] () ; ^ - { } | ~ です。

ディマーコントロール

ディスプレイの明るさを設定します。

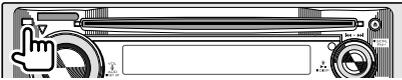


DIM ON ディマーオン
DIM OFF ディマーオフ

“DIM ON (OFF)” と表示されるまで押し続けます。ディマーがオンになるとディスプレイが暗くなります。

パネルの取り外し

操作パネルを取り外します。



パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

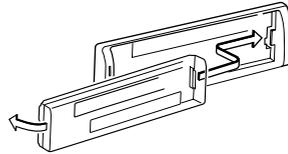


- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所

パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

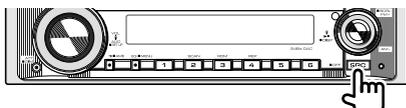
Menu

各種の機能を設定します。

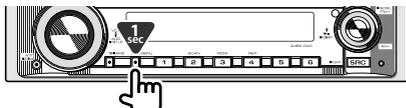
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます



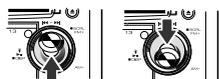
2 メニューモードにします



MENU

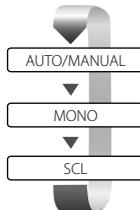
“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

Tunerの場合



チューニングモードを設定します。
(p17)
(AUTO1/AUTO2/MANUAL)

モノラルで受信します。(p17)
(OFF/ON)

テキストスクロールを設定します*
(AUTO/MANU)

* E313Sでのみ設定ができます。

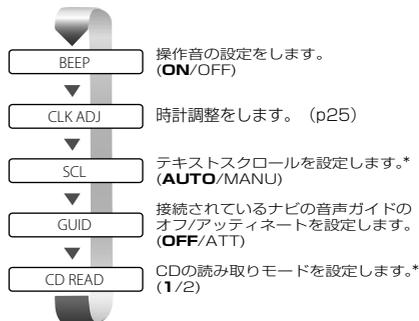
CD/オーディオファイルの場合 (E313Sのみ)



サブリーム機能の設定をします。
(ON/OFF)

テキストスクロールを設定します。
(AUTO/MANU)

スタンバイモードの場合



操作音の設定をします。
(ON/OFF)

時計調整をします。(p25)

テキストスクロールを設定します*
(AUTO/MANU)

接続されているナビの音声ガイドの
オフ/アッティネートを設定します。
(OFF/ATT)

CDの読み取りモードを設定します。
(1/2)

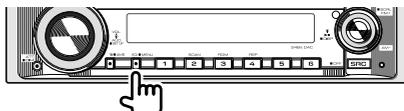
* E313Sでのみ設定ができます。

4 各項目を設定します



ページ数が表記されている項目の設定方法は、
それぞれのページを参照してください。

5 メニューモードを終了します

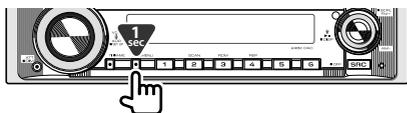


- 各項目の詳細は「Help? Term」(p31)をご覧ください。
- 設定値の太字が初期設定です。

時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 メニューモードにします

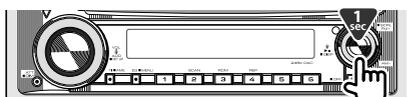


"MENU" と表示されるまで押し続けます。

2 時刻合わせの項目を選択します

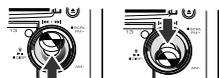


3 時刻合わせを開始します

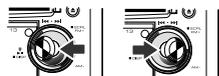


時計が表示されるまで押し続けます。

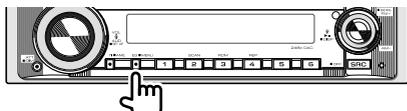
4 "時" を調整します



5 "分" を調整します



6 時刻合わせを終了します



- 時刻合わせは、スタンバイモードで操作してください。
- "分"を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

オーディオファイル

E313Sはオーディオファイル(MP3/WMA)をプレイできます。プレイできるオーディオファイルを記録したメディアやフォーマットに関して制限があります。オーディオファイルを書き込むときには、下記の点にご注意ください。

また、本機に表示できる文字の制限があります。下記をご参照ください。なお、記載されている文字数は、いずれも1バイト文字換算時の値です。

プレイできるオーディオファイル

本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3およびWMAです。



- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。
- エンコードソフトの設定や環境により再生や表示ができないことがあります。エンコードの仕様や設定方法は、ソフトのヘルプを参照するか、開発元にお問い合わせください。
- 圧縮フォーマットがバージョンアップされたファイルや、仕様が追加されたファイルは再生できない場合があります。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSP Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数
: 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32,
44.1, 48 (kHz)
- ビットレート: 8~320 (kbps)

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数: 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート: 48~192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL: http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるメディア

プレイするオーディオファイルを記録するメディアは、CD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。本機では、CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

なお、ファイル名/フォルダ名は64文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層: 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数: 255
- 最大フォルダ数: 100

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

オーディオファイル(MP3/WMAファイル)には、おのこの“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けてください。これらの拡張子が付いていないファイルはプレイできません。



禁止

- オーディオファイル以外のファイルに上記の拡張子を付けないでください。これらの拡張子を付けると、本機がオーディオファイルと誤認識してプレイしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.0/1.1規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数字文字です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

オーディオファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやオーディオファイル以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

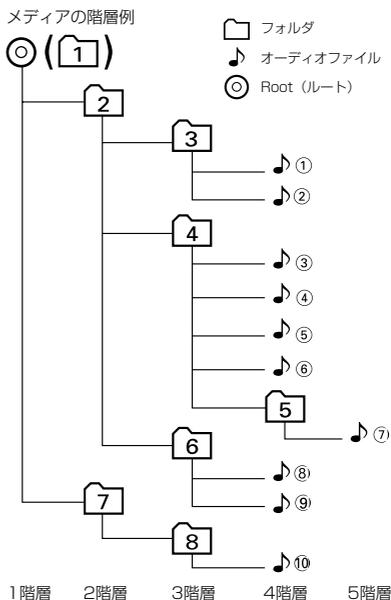
また、次のオーディオファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番

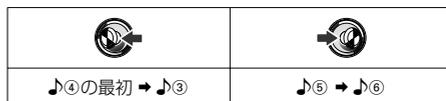
プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

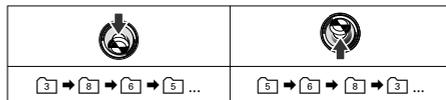
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。



♪④再生中にファイルサーチを行うと...



♪④再生中にフォルダサーチを行うと...



♪④再生中にフォルダセレクトを行うと...



音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

共通

? 電源がオンにならない

- ✓ ヒューズが切れている。
 - ✖ コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
-
- ✓ 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
 - ✖ 「接続」(p36)を参照して正しく接続し直してください。

? 音が出ない/音が小さい

- ✓ フェダー、バランスが片方に寄っている。
 - ✖ フェダーやバランスを正しく調整してください。
-
- ✓ 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
 - ✖ 「接続」(p36)を参照して正しく接続し直してください。

? 操作スイッチを押しても動作しない

- ✓ 操作スイッチを押しても動作しない。
- ✖ リセットボタンを押してください。(p8)

? 音質が悪い(音がひずむ)

- ✓ 音量が大きすぎる。
 - ✖ 音量を適正に調整してください。
-
- ✓ スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
 - ✖ スピーカーの配線を確認してください。
-
- ✓ スピーカーの配線が間違っている。
 - ✖ スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

? チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
 - ✖ アンテナを十分に伸ばしてください。
-
- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
 - ✖ 「接続」(p36)を参照して正しく接続し直してください。
-
- ✓ アンテナ入力がかちんと接続されていない。
 - ✖ アンテナ入力を確実に接続してください。

? 音が途切れる

- ✓ CDのイジェクト動作中。
- ✖ イジェクトが完了すると音が出るようになります。

ミュージックディスク

? SRCボタンを押してもディスクがプレイできない

- ✓ ディスクが入っていない。
- ✖ プレイするディスクを入れてください。

? ディスクが入らない

- ✓ すでにディスクが入っている。
- ✖ 入っているディスクを取り出してから入れてください。

? ディスクのプレイ中に振動で音が切れる

- ✓ 取り付け角度が30°を超えている。
 - ✖ 30°以下になるように取り付け直してください。
-
- ✓ 取り付けが不安定になっている。
 - ✖ しっかりと取り付け直してください。なお、駐車中에서도音飛びする場合、曲の同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

? CDやオーディオファイルをプレイできない

- ✓ CDやオーディオファイルが裏返しになっている。
 - ✖ レーベル面を上にして入れ直してください。
-
- ✓ CDやオーディオファイルが異常に汚れている。
 - ✖ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
-
- ✓ 結露している。
 - ✖ しばらく放置してから使用してください。(p8)
-
- ✓ CDやオーディオファイルが内部的に検出されていない。
 - ✖ リセットボタンを押してディスクを取り出しから、再度ディスクを挿入してください。(p8)

? 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ✖ ランダムプレイをオフにしてください。(p18)

? 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- ✓ トラックリピートがオンになっている。
- ✖ トラックリピートをオフにしてください。(p19)

? 曲の先頭しかプレイされない

- ✓ スキャンプレイがオンになっている。
- ☛ スキャンプレイをオフにしてください。(p18)

? 曲が順にプレイされない

- ✓ ランダムプレイがオンになっている。
- ☛ ランダムプレイをオフにしてください。(p18)

? STANDBYにするとCDやオーディオファイルがディスクの先頭へ戻る

- ✓ Menuの“CD Read”項目を変更した。
- ☛ “CD Read”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。

? CD-R、CD-RWがプレイできない

- ✓ ファイナライズ処理を行っていない。
- ☛ CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- ✓ CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。
- ☛ CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

? リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

- ✓ ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。
- ☛ 各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

? ディスクを取り出せない

- ✓ 車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。
- ☛ ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトボタンを押してください。

オーディオファイル**? オーディオファイルがプレイできない**

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ☛ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ☛ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ☛ —

? SPRMをONにしても効果が現れない

- ✓ 高音域の成分が少ない。
- ☛ 高域の音が少ない曲では効果が表れません。
- ✓ 96kbps(fs=32k、44.1k、48kHz)よりも高いビットレートでエンコードされている曲や、可変ビットレートでエンコードされている曲は、高音域の成分を復元しません。
- ☛ —

共通

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p26)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p26)をご覧ください。

SPRM (Supreme; サプリーム)

低ビットレート (96Kbps (fs=32k, 44.1k, 48kHz)以下)でエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です

補完は圧縮フォーマット (MP3またはWMA) 別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

オーディオコントロール

V-OFF (ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“V-OFF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

Menu

CD READ (CD リード)

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

- 1：オーディオファイル/CDプレイ時にオーディオファイルディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
- 2：音楽CDとして強制的にプレイします。

SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておくでスクロール表示を繰り返し行い、“MANUAL”に設定しておくで表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

GUID (ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

- ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。
- OFF：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力しません。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

BEEP (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し機能オンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

MONO (モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

E-05 :

ディスクが裏返しです。

E-15 :

ディスクに本機で再生できるデータが収録されていない。

NA FILE:

サポートされていないオーディオファイルのフォーマットをプレイしようとした。

COPY PRO:

プレイしようとしたWMAファイルは、コピープロテクトされています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

PROTECT :

スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働いている。

- ➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

HOLD :

本機の内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➡ 本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

E-99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

IN インジケーターが点滅 :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

- ➡ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

READING :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

取り付け時のご注意

警告



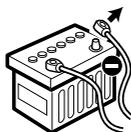
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

配本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意

車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続



実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

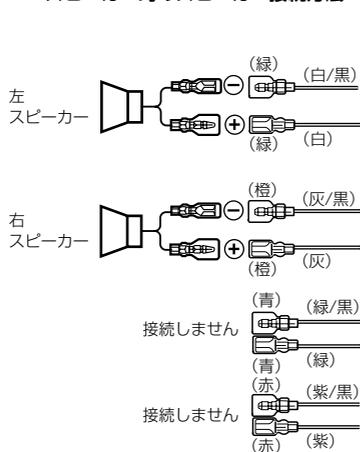
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。



注意

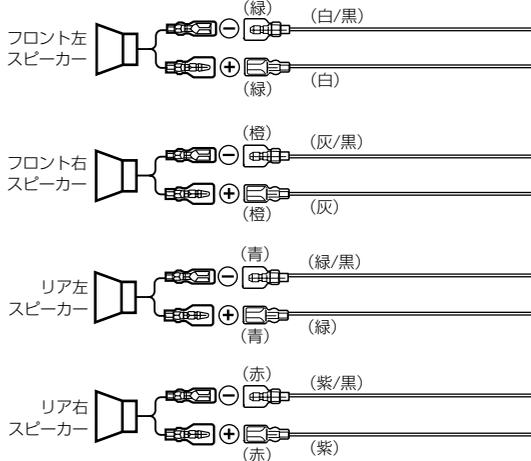
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



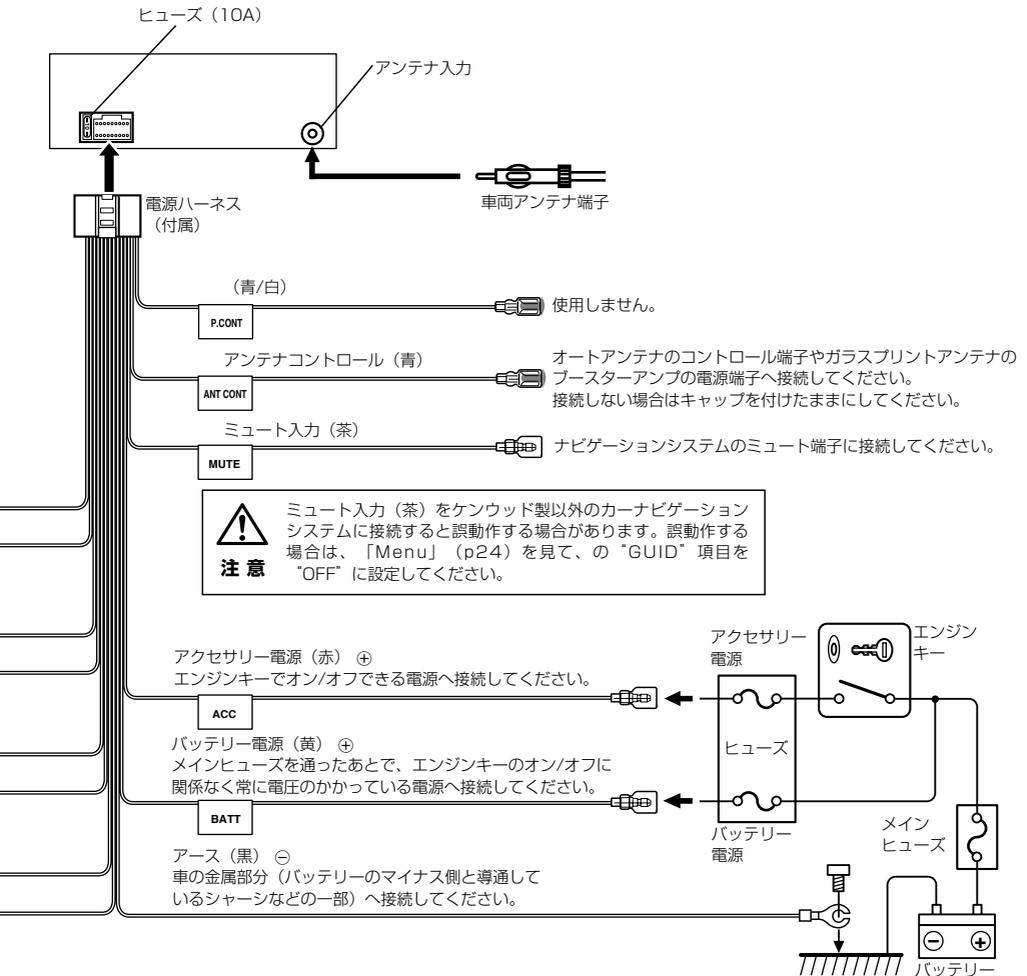
注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



接続

取り付け

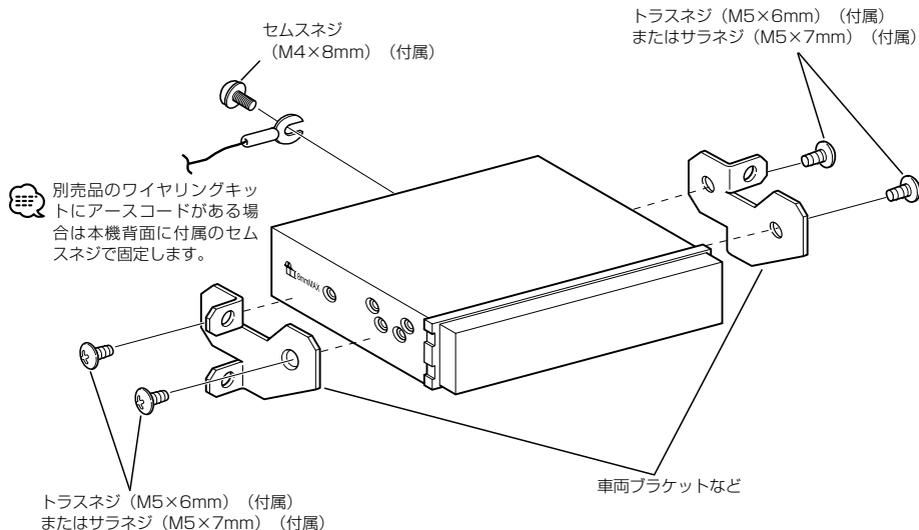
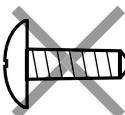
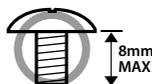
付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5×6mm)	4
 サラネジ (M5×7mm)	4
 セムスネジ (M4×8mm)	1



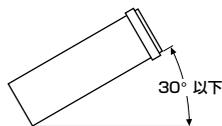
注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。注意また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

- 受信周波数範囲（周波数ステップ）
：76.0 MHz～90.0 MHz（100 kHz）
- 実用感度（S/N：30 dB）
：9.3 dBf（0.8 μ V/75 Ω ）
- S/N 50 dB感度
：15.2 dBf（1.6 μ V/75 Ω ）
- 周波数特性（ \pm 3.0 dB）
：30 Hz～15 kHz
- S/N比
：70 dB（MONO）
- 選択度（ \pm 400 kHz）
：80 dB以上
- ステレオセパレーション
：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

- 受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz～1629 kHz（9 kHz）
- 感度
：28 dB μ （25 μ V）

CDプレーヤー部

- レーザーダイオード
：GaAlAs
- デジタルフィルター（D/A）
：8倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター
：1Bit
- 回転数
E313S
：1000～400 rpm（線速度一定）
E212/E212S
：500～200 rpm（線速度一定）
- ワウ& フラッター
：測定限界以下
- 周波数特性
：10 Hz～20 kHz（ \pm 1 dB）
- 高調波歪率
：0.01 %（1 kHz）
- S/N比
E313S
：105 dB（1 kHz）
E212/E212S
：93 dB（1 kHz）
- ダイナミックレンジ
：93 dB
- MP3デコード（E313S）
：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
- WMAデコード（E313S）
：Windows Media™ Audio 準拠

オーディオ部**最大出力**

: 50 W × 4

定格出力

: 30 W × 4 (4Ω、1kHz、10%THD以下)

スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

オーディオコントロール

パス : 100 Hz ± 8 dB

ミドル : 1 kHz ± 8 dB

トレブル : 10 kHz ± 8 dB

付属部品**電源ハーネス**

: 1本

トラスネジ (M5 × 6 mm)

: 4本

サラネジ (M5 × 7 mm)

: 4本

セムスネジ (M4 × 8 mm)

: 1本

電源部**電源電圧**

: 14.4 V (11~16 V)

最大消費電流

: 10 A

寸法・質量**埋込寸法 (W × H × D)**

: 178 × 50 × 160 mm

質量 (重さ)

: 1.2 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX 045-933-5553
住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。